

地域情報

ウリ類退緑黄化病対策の取り組み

(一社) 熊本県野菜振興協会 鹿本支部

鹿本地域は春夏すいかを中心に、メロン、キュウリ等のウリ類が周年で栽培されています。このため、タバココナジラミがウイルスを媒介するメロン退緑黄化病が抑制アールスメロンで発生し、収量・品質に影響を及ぼしています。

防除対策の基本はタバココナジラミを「入れない」、「増やさない」、「出さない」です。ハウスのサイドや谷部に目合い0.4ミリの防虫ネットを張り、タバココナジラミのハウスへの侵入を防ぐ取り組みを産地全体で行っていますが、近年、野外のタバココナジラミのウイルス保毒率が高まり、ハウスへの侵入・感染を抑えるのが難しい状況です。

そこで、目合いがさらに小さい0.3ミリの防虫ネットや、アザミウマ等の侵入抑制に効果のある赤色防虫ネットを使用した展示ほを設置し、防除効果やハウス内環境について調査しています。併せて、平成30年に行った薬剤感受性試験の結果をもとに改定した防除モデルの実証試験も行っており、退緑黄化病の封じ込めに向け、多面的に取り組んでいます。

今後は、調査結果を取りまとめ、地域の対策会議や菊池・熊本との合同会議で情報を共有化する予定です。



展示ほの様子



調査の様子